

**大阪総合デザイン専門学校**

**学校関係者評価報告書**

(令和4年度)

実施日＝令和4年10月3日

**学校法人上田学園**

**大阪総合デザイン専門学校**

## 学校法人上田学園 大阪総合デザイン専門学校 学校関係者評価報告書について

学校法人上田学園は、平成20年に、学校自己評価制度導入を図るために、自己点検部会を設立し、組織的な体制を築きました。その後、平成23年度より「学校自己評価報告書」を取りまとめ、平成24年6月から毎年6月に本学園のホームページ上に公表いたしました。

また、平成25年度より、本校に関係の深い方々からご意見等を頂戴し、今後の学校運営に反映させ、改善を図るべく「学校関係者評価」を実施いたしております。学校関係者評価委員会では、第三者の視点に立った、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り、改めて学校関係者評価の重要性を認識した次第です。ここに学校関係者評価の内容についてご報告いたします。

今後もより良い学校運営、教育活動を目指し、教職員一同尽力して参りますので、関係者の方々をはじめ皆様の、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年10月

学校法人上田学園 理事長 上田哲也  
大阪総合デザイン専門学校 校長 丸岡宏次

### 1. 「学校関係者評価」の実施について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に則し実施した「令和2年度学校自己評価報告書」に基づき、本校と関係の深い4名の学校関係者評価委員の方々に評価して頂きました。

各評価委員には、事前に「令和2年度学校自己評価報告書」等の学校評価に関連する資料を配布した上で、学校関係者評価委員会でご意見を頂戴しました。今年度も、コロナ禍の状況を鑑み、委員長と学校関係者は校内から、各委員はご自宅等から参加というリモート形式で会議を進行しました。評価委員からのご意見は、校長が承り、その内容等について要約の上、報告書として取り纏めました。

令和3年度学校自己評価報告書と併せてご覧いただければと存じます。

## 2. 学校関係者評価委員一覧表

評価委員	当校との関係属性等	備考
井村 良裕	同窓会名誉会長・評議員 卒業生の代表として参画 毎年、卒業制作の中から同窓会会長賞を選出頂いている。	委員長
鵜飼 隆	(有)タイトルアート 代表取締役 卒業生を継続的に多数ご採用頂いている企業の代表として参画	
廣瀬 勇一	(株)ロイスエンタテインメント 代表取締役 卒業生・留学生を採用頂いている企業の代表として参画	
飯田 俊子	元(公財)大阪観光局 常務理事 地域振興における有識者として参画	

## 3. 学校関係者評価委員会 次第（令和4年10月3日開催）

1. 校長挨拶
2. 自己評価報告書の概要説明
3. 重点目標、今後の取組み方針等の説明
4. その他

その内容等について、学校評価ガイドラインの大項目に沿って、要約の上、以下の通り報告いたします。

大項目別 学校関係者評価結果 意見・助言

No.	大項目	評価項目	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切 2 不適切:1	意見・助言
1	教育理念・目的・人材育成像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>・学校における職業教育その他の教育指導等の特色は何か</li> <li>・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</li> <li>・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか</li> <li>・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代に合った職業専門技術教育と人間力の教育を融合して行っており、素晴らしいと思う。</li> </ul>
2	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか</li> <li>・人事、給与に関する規定等は整備されているか</li> <li>・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> <li>・情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスや学校運営の明確化が徹底されており、信頼性の高い学校だと思う。</li> <li>・コロナ禍でも、なんとかしようとする意志を感じる。</li> <li>・学校として努力されていることが、ひしひしと伝わる。</li> </ul>
3	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</li> <li>・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</li> <li>・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>・授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか</li> <li>・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界ニーズを踏まえて、合理的なカリキュラムを実施していると思う。また生徒へのアンケートの結果から授業の改善を続けている点も良いと思う。</li> <li>・学生や社会が変わっていく中、現状に対応できていると思う。</li> <li>・現在は自宅に居て YouTube で勉強できる時代。自分自身を強化する為に専門学校に行くという選択をさせることが重要。YouTube との競合をどのように考えていくのか。検討が必要。</li> </ul>

4	学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・退学率の低減が図られているか</li> <li>・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか</li> <li>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアサポートセンターが活発に学生の支援をしているため、長期的な学生のキャリア形成に役立っているのではないかと思う。</li> </ul>
5	学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>・保護者と適切に連携しているか</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症対策も十分に行ったうえで、学内・学外での各種支援が充実しているのは、学生にとって非常に良いと思う。</li> <li>・真摯に対応できていると感じる。</li> </ul>
6	教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか</li> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最先端のデジタル機材を導入して、学生がストレスなく学べるようになってきていると思う。</li> <li>・コロナ禍に始まったオンライン授業をさらに活用する重要性を感じる。</li> </ul>
7	学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>・学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に活発なオープンキャンパスや、情報発信のため冊子や動画が学生募集に役立っていると思う。</li> <li>・入学案内や募集要項をマンガにしてみるなど、目を引き付けるツールを取り入れてはどうか。また学生自身に具体的な学生生活や授業風景について書いてもらい、生の声で学校紹介をしてはどうか。</li> <li>・漫画コースの募集に苦戦されているとのことだが、今の若者は紙(本)ではなくデジタル(スマホ)で読む時代、電子書籍のマンガに対するカリキュラムの対応が遅れていることも要因ではないか。</li> </ul>
8	財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計検査が適正に行なわれているか</li> <li>・財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数年先を見据えて、経営計画・財務計画を考えており、財務的にも安心できる。</li> </ul>

9	法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> </ul>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令および各種ルールをしっかりと運営していると思う。</li> </ul>
10	社会貢献 ・ 地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域連携を行っているか</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に公共機関との連携や産学連携に取り組んでおり、社会貢献をしていると思う。</li> </ul>
11	国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか</li> <li>・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか</li> <li>・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期で留学生の受け入れ計画を検討しており、コロナ後の留学生の増加が見込めると思う。</li> </ul>
総括的なご意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症による混乱の影響は、まだ残っているようだが、学校全体として、デジタル化への社会の変化に対して、前向きにキャッチアップしていくべく努力しており、中長期的に、より良い専門教育が達成できるようになるだろうと思う。</li> <li>・デジタルデザインと服飾の融合に取り組んでもらいたいと思う。</li> <li>・コロナ禍も含め、厳しい状況が続くなか、少しでも現況を改善するため、自一に努力を続けていることに敬意を表す。コロナ禍のもと培ってきたオンライン授業のノウハウについては、今後どのように活かせるのかについて、引き続き関係者との調整も含め、検討してもらいたい。</li> <li>・類似の専門学校や YouTube 等の無料情報提供などに比べて、なお当校を選択してもらうためには、結局なにより講師や学生の質、設備環境、就職実績などが圧倒的に優れていることだと思う。既に十分な努力をしているが、今後も一層の努力を期待する。特に変化の流れの早い時代に対応できる講師を確保する為には、講師の個人の努力に任せることなく、組織的な対応が必要で、処遇も含めさらに検討してもらえればと思う。</li> <li>・プロだけでなく素人が自由に発信できる世の中になっている。教員も自らバーチャル空間でどんどん発信していても良いのではないか。</li> <li>・新型コロナ禍の入国禁止による延期を2年間も待つて当校に入学する海外留学生。彼らにとって当校の魅力とは何か。世界をリードする日本の漫画、イラストレーション、アニメーション、フィギュア等々の魅力によるところは大きいと思う。そして、その現象が、日本国内の同じ学科編成の専門学校とその他教育機関すべてにおいて共通でなく、当校においてその傾向が顕著であれば、それは当校の魅力によると考えられるのではないか。</li> <li>・一方で日本の若者は、YouTube などから自分好みの電子スクールを選び、学習を続けているかもしれない。だが、YouTube では、部分的表現の習得を得られるだけで全体を体系的に学べる訳ではなく、そこに学校の存在価値があるのではないか。</li> </ul>		

	・長所をさらに伸ばすための広報戦略もその一つだと思う。入学想定者と保護者双方の学校理解を促進する入学案内の漫画化、アニメ化もありだと思う。入学前、就学中、卒業後における希望、期待、心配等、これらに対する学校の理解と考え、対応事例、そして実績、学生、卒業生、保護者の評価などテーマは多様だと思う。
--	---

\* 各委員に項目ごとに4段階評価を受け、総合評価として平均値を記載。

## 6. 終わりに

校長から各委員に貴重なご意見を頂戴したことに対して謝辞を述べ、今回提示された学校、学園運営の課題等は、所轄部所にて改善策を検討することとし、閉会となった。

以上